

【東日本大震災 第11報】

国際 NGO セーブ・ザ・チルドレン

**おにぎり、味付けゆで卵、フルーツゼリーで給食支援
成長期の子どもたちに栄養と給食の楽しみを**

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

子どもたちのための国際援助団体(NGO)公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(理事長:上野昌也/理事・事務局長:渋谷弘延、以下 SCJ)は、5月10日より、岩手県釜石市の幼稚園、小学校、中学校の計19校にて、簡易給食への補助食品の提供を始めました。



ゆで卵が配られた釜石市内の小学校で。殻むきに奮闘する子どもたち

東日本大震災から2カ月近くが経ち、被災地では学校が再開されたものの、食材納入業者の多くが被災し給食資材の調達ができなかったり、給食センターの施設設備、厨房・洗浄設備等が大きく破損し、復旧工事に時間を要すことから、完全給食の実施は難しく、子どもたちの栄養面に懸念が残ります。

SCJ が支援をしている岩手県釜石市では、勉学に励む子どもたちに少しでも早く給食を提供したいという思いから、現在市内の幼稚園、小学校および中学校を対象に簡易給食を実施しています。しかしながら、その内容は、パン4種類を日替わりで牛乳とともに支給するもので、成長期の子どもたちには栄養が足りません。

そこで、簡易給食に少しでも栄養価の高いものを、そして子どもたちに給食の楽しさを提供したいという思いから、通常給食センターと連携している業者よりフルーツゼリーと味付けゆで卵を、SCJ が長年ご支援をいただいている企業、ファミリーマートよりおにぎりを提供していただくことになりました。さらに、ファミリーマートには、食品を運ぶトラックの貸し出し、および各学校への配送にもご協力いただきます。釜石市では、給食センターの設備が復旧し完全給食が開始するのは6月1日の予定です。

給食支援の概要

【地域】 岩手県釜石市内

【対象】 幼稚園(4)、小学校(9)、中学校(6) 計19校の児童および教員 約3,300人

【内容】 1. おにぎり 金曜日

2. フルーツゼリー 月曜日、水曜日

3. 味付きゆで卵 火曜日、金曜日

* 幼稚園児～小学校4年生 おにぎり1個

* 小学校5年生～中学3年生、教員 おにぎり2個

* おにぎり具材はこんぶ、おかか、梅など

【期間】 5月10日～5月31日

SCJは、今回の東日本大震災において、地震発生5日後に「こどもひろば」を開設。これまでに、被災地の避難場所のべ19か所に「こどもひろば」を展開し、子どもの保護とケアを最優先とした緊急支援活動を行っています。

◆本件に関しましてのお問い合わせ、ご取材等のご連絡は下記広報までお願いいたします。